

1 自主・協働による取り組みの促進（参画）

環境教育・環境学習の推進

環境について学ぶ場の提供

【記号の意味】

当該年度以降で検討

検討

実施（検討含む。）

継続

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
身近にある自然を体験学習の場として利用できるような仕組みを構築する	農政室	棚田保全事業	坂本棚田野上がりまつりを支援し、都市住民との交流を通じて、里山に対する意識啓発に努める。（来場者2,000人）						6月4日に第6回坂本棚田野上がりまつりを開催し、約1000人の来場者がありました。
	環境保全対策室	環境再生事業	環境再生事業地を整備する。						
	環境森林保全室	森林公園整備・活用事業	加太梶ヶ坂地内の市有林を森林公園として整備する。						平成19年度の整備構想・計画策定のため、市総合環境研究センター、市環境審議会への説明を行い、地元委員会及び環境市民大学院生による現地調査・検討会を開催しました。
	環境保全対策室	環境再生事業	亀山里山公園「みちくさ」を利用したイベントを開催する。						5月7日にオープニングイベントを開催し、田植え体験を行いました。7月30日と8月26日にはザリガニ釣り大会を開催し、それぞれ60人程の参加を得ました。また、9月22日に東小学校の5年生を対象に稲刈り体験を、12月10日にリースづくりとしめ縄づくりを行いました。
学校や公共施設に、生物の生育・生息空間を創出する	廃棄物対策室	自然環境ふれあいゾーン事業	職員、シルバーによる草刈及びポンプの運転管理など、自然環境ふれあいゾーンを維持管理する。						職員で日常的に管理しているほか、シルバーによる草刈りを1回実施しました。
	建築住宅室	公共建築物の建設及び維持修繕	学校施設への生物の生息空間の創出など施設担当室が事業化するときの技術援助を行う。						平成18年度は、施設へ生物の生息空間を創設する案件はありませんでした。
	教育総務室								
総合環境センターを見学会等の場として積極的に提供する	廃棄物対策室	総合環境センター見学会	小中学校の環境学習、行政視察等依頼があれば受入れる。						教育の一環として小学生の見学を受け入れました（9件）、行政視察等依頼があれば受け入れました（6件）。
	学校教育室	学校行事の把握	小学校3年、4年の総合学習の一環で総合環境センターを見学する。						小学生の見学を受け入れました（9件）。

環境教育・環境学習の拠点づくりを進める	環境保全対策室	総合環境研究センター事業	総合環境研究センターを設置し、拠点づくりを行う。						
環境対策に積極的に取り組む事業所を見学会等の場として公開されるよう促す	環境保全対策室	エコ・スタンプラリー事業	各事業所を環境の見学会の場とし、それぞれの事業所を回るスタンプラリーを行う。						
	産業・観光振興室								

環境について学ぶ機会の充実

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
身近な自然を活用した体験学習や自然観察会などの実施を促進する	環境保全対策室	環境再生事業	亀山里山公園「みちくさ」を利用したイベントを開催する。						5月7日にオープニングイベントを開催し、田植え体験を行いました。7月30日と8月26日にはザリガニ釣り大会を開催し、それぞれ60人程の参加を得ました。また、9月22日に東小学校の5年生を対象に稲刈り体験を、12月10日にリースづくりとしめ縄づくりを行いました。
	まちづくり推進室	自然の森公園整備事業	公園整備の調査・研究のため、自然に親しむイベント（自然観察会）を年1回開催する。						11月26日に開催（自然観察、クラフト）し、38名の参加がありました。
	生涯学習室	青少年健全育成推進事業	子どもたちに『平成子ども亀山検地』で亀山市の環境の現状や変化も体感してもらう。						11月18日から19日に観音山をフィールドに開ロジで実施しました。
個人、市民団体、事業者の活動発表会や講演会の実施、環境に関する講座やシンポジウムの開催する	環境保全対策室	総合環境研究センター事業	総合環境研究センターを設置し、拠点づくりを行う。						
	環境保全対策室	総合環境研究センター事業	環境市民大学及び大学院を開講する。						6月から環境市民大学院で6ゼミを開催しており、43人が参加しました。第2期環境市民大学を平成18年9月から平成19年1月にかけて計5回開講し、64人（延べ210人）が受講しました。

	環境保全対策室	総合環境研究センター事業	環境に関するシンポジウム等を開催する。					
関連図書の充実を進める	図書館	図書選定	年間購入書籍の枠内で環境関係書籍を購入数を増やす。					年間購入書籍の枠内で環境関係書籍を継続購入しています。(狭義の環境関連冊数12冊、広義の自然科学分野68冊)
三重県環境学習情報センターの活用など、国や県の実施する事業も有効に取り入れる	学校教育室	小中学校	全校で学校環境デーに環境に関する学習、啓発・奉仕等体験活動を実施する。					全校で学校環境デーにあわせて環境活動を実施しました。
	環境森林保全室	地球温暖化防止地域推進計画策定事業	「みえのエコポイント」の参加世帯数を増やす。					758世帯が参加し、うち報告数230世帯からの提出がありました。
各学校においては、6月5日の「環境の日」を「学校環境デー」として創意工夫ある実践や、総合学習の時間を活用した環境学習を推進する	学校教育室	小中学校	全校で学校環境デーに環境に関する学習、啓発・奉仕等体験活動を実施する。					全校で学校環境デーにあわせて環境活動を実施しました。
	学校教育室	亀山市学校教育ビジョン策定事業	環境教育を含んだ亀山市学校教育ビジョンを策定する。					学校教育ビジョンを策定し、概要版を小中学校の全保護者に配布しました。
	各幼稚園	年長保育指導ほか	「幼稚園児への環境教育取り組み一覧表」を作成し、その項目に記載の取り組みを実施する。					年間を通じ、継続して実施しました。水を大切に使用したり、廃材を使っているいろいろな遊びがあることを知らせたりして、物や資源を大切に教育をするなど、33の教育項目に沿って園児に環境教育をしました。また、保護者への啓発にも心がけました。
	各保育園	年長保育指導ほか	「保育園児への環境教育取り組み一覧表」を作成し、その項目に記載の取り組みを実施する。					年間を通じ、保護者にも啓蒙しながら継続して実施しました。
「学校環境ISO推進事業」により、環境省が実施している「こどもエコクラブ」への加入促進を図る	学校教育室	学校環境ISO推進事業	小学校11校4年から6年まで及び中学校3校1年～3年でこどもエコクラブに加入する。					

人材の育成・確保

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
体験学習などの環境教育現場を補助できるよう、ボランティア登録制度を確立する（登録数）	市民参画協働室	協働の指針の策定	環境ボランティア登録制度を含めた協働の指針を策定する。						10月から12月にかけて、各室の協働事業の実態調査を実施しました。
	環境保全対策室	環境保全一般	三重県環境学習情報センターと共催し、環境講演会を開催する。						11月1日に三重県環境学習情報センターと共催で環境講演会を開催しました。
	市民サービス室	みどりの少年隊活動業務	緑化の教育活動のサポート支援を行っていく。						指導者と協力して、亀山市内に「みどりの少年隊」を増やす課題の検討及び平成19年度より、事務局を鈴鹿森林組合内の林業研究会に移転する方向で協議しました。
環境教育にあたる人材については、地域の子どもからお年寄りまで幅広い世代から育成できるよう努める	環境保全対策室	総合環境研究センター事業	環境市民大学及び大学院を開講する。						6月から環境市民大学院で6ゼミを開催しており、43人が参加しました。第2期環境市民大学を平成18年9月から平成19年1月にかけて計5回開講し、64人（延べ210人）が受講しました。
	生涯学習室	中央公民館活動推進事業	中央公民館による公民館講座に、環境をテーマとした講座メニューを開設し、開講する。						6月22日、8月4日、9月4日に中央公民館による公民館出前講座に、地球温暖化対策をテーマとした講座メニューを3講座実施しました。
三重県の環境人材データベースの活用など、県の実施する事業も有効に取り入れる	生涯学習室	生涯学習推進事業	生涯学習人材バンクを整備し、環境部門における講座等での活用する。						環境をテーマにした講座等の開催について、市民からの要請がなく、講座としての実績はありません。
	環境保全対策室								

推進体制の整備

参画体制の整備

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
環境政策の企画立案段階における市民・事業者の参画を促進する	環境保全対策室	亀山市環境基本計画推進事業	環境審議会を年1回開催する。						平成18年度環境審議会を1回開催しました。
市民・事業者・市の連絡協議会を設立する	環境保全対策室	亀山市環境基本計画推進事業	市民・事業者・市で進める重点的取り組みを進める際に検討する。						平成18年度は未実施となりました。
ボランティア団体やNPO等が行う環境活動の支援及び、財源の一部に充てるため環境保全基金など新たな制度の創設を検討する	環境保全対策室	総合環境研究センター事業	グリーン・ファンドなど企業からの資金導入がはかれるシステムの構築にを検討する。						環境研究センターの取り組み事業としてグリーンファンドのあり方等について研究センター委員会議で協議しました。
	市民参画協働室	市民参画協働事業推進補助金交付	市民活動団体等へ補助金を交付する。						全申請9件中0件。
鈴鹿川や中ノ川の上流部と下流部の住民の交流を図るなど、周辺自治体と連携した広域的な環境活動を推進する	環境森林保全室	海と森林を結ぶ交流事業	鈴鹿川流域及び伊勢湾の環境を保全するため、川上、川下の住民が協力して森林再生に向けての森づくりや海的环境美化を進める活動を行う。						交流事業を4月22日と8月5日に実施しました。4月22日は、漁協側が市内加太地区の手入れされた森林と手入れされていない森林を見学することにより、森林管理の重要性を認識し、8月5日は、加太小5・6年生で組織する「みどりの少年隊」を含む森林組合側が、伊勢湾の底引き網による魚とゴミ、セントレア近くのヘドロの説明を受け、川を介して森林と海が繋がっていることを認識しました。

環境保全活動の促進

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
市民や事業者による環境保全活動の実施状況や先進事例の紹介をする	環境保全対策室	ホームページ作成	亀山市総合環境センターホームページをリニューアルする。						

活動団体等が情報交流できる場の提供により、積極的な環境保全活動を促進する	市民参画協働室	市民交流会推進事業	市民協働センターの運営を検討し、整備する。						11月20日から市民協働センターの改修工事を実施し3月15日に完成しました。完成後、備品等を配置し、4月1日にオープンしました。
	環境保全対策室								
グリーン購入や ISO14001 認証取得など、市の率先行動を民間に普及させる	行政改革室	ISO14001 環境マネジメントシステム推進事業	市の率先行動及び環境マネジメントシステムを普及啓発する。						ホームページで ISO14001、エコアクション 21 等を照会しています。また、7月7日～12日CTVで「クールビズ」を紹介しました。
	行政改革室	地球温暖化防止実行計画	地域推進計画に合わせて実行計画を見直す。						燃料等使用量を1年間蓄積、10月から取り組みを再開しました。なお、地域推進計画は、11月10日に環境森林保全室と打ち合わせをしました。
	契約調達室	物品購入（グリーン購入）	環境に配慮した物品の調達を推進し、率先行動を実施する。						グリーン購入方針に基づき、対象物品の購入を推進しました。
	法制執務室	リサイクルトイレットペーパー事業	廃棄した文書をリサイクルトイレットペーパー化し、全課（医療センター事務局を除く）で使用する。						廃棄文書をトイレットペーパー化し、全室で使用しました。（トイレットペーパー購入数：24,000巻）
	危機管理室	自主防災組織活性化事業費	防災備蓄品（機材含む）の購入にあたり、環境に配慮した物品を選定し、購入を行う。						毛布（PETボトル再生ポリエステル50%）400枚を購入しました。
環境に配慮した具体的な取り組みを紹介する	環境保全対策室	ホームページ作成	亀山市総合環境センターホームページをリニューアルする。						
	行政改革室	ISO14001 環境マネジメントシステム推進事業	エコイベント推進委員会（年3回）を開催し、エコイベントマニュアルを作成・見直す。						8月及び2月の2回エコイベント推進委員会を実施し、成果の検証を行いました。具体的なマニュアルの変更はできませんでした。
	市民参画協働室	市民活動支援事業	エコイベントマニュアルを市民ネット説明会参加団体に配布し、掲示板にて呼びかける。						6月にエコイベントマニュアルを市民ネット説明会参加団体（47団体）に配布、9月、12月、3月に市民ネット掲示板にて呼びかけました。市民参画協働事業推進補助金交付団体（9団体）に対してエコイベントマニュアルを配布したところ、該当する7団体から実績報告書の提出がありました。
環境保全活動が社会活動の一環として行われるよう、エコマネーやエコショップ認定制度の導入を検討する	環境保全対策室								
	産業・観光振興室								

環境情報の共有化

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
環境調査の項目、回数、地点等を適宜見直すとともに、環境調査結果を積極的に公開する（公開にあたっては、興味を引きわかりやすい情報の提供に努める）	環境保全対策室	ダイオキシン類等調査	各種調査の実施箇所については、適宜見直しを行う。また、実績は、亀山市の環境をホームページ等で公開する。						各種調査の実施箇所については、市民要望や地域の環境状態を把握するため適宜見直しを行っています。また、市内で30箇所の河川測定を実施しました。
事業者への情報伝達手段の確立、市民・事業者・市の環境情報交換の場の整備を推進する									

2 自然との共生（共生）

豊かな自然の保全

森林の保全

【記号の意味】

当該年度以降で検討

検討

実施（検討含む。）

継続

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
森林環境創造事業による森林整備を推進する 事業の実施にあたっては、所有者の理解促進に努めるとともに、森林ボランティア活動の支援を行う	環境森林保全室	林業振興事業	森林の持つ公益的機能を効率的に発揮させるため、環境林を整備する。						8 認定地区 97.55 ha で事業を実施しました。（累計 413.97 ha） 11月、3月の2回、森林ボランティア活動が開催されました。
森林面積の確保については、保安林等の指定による土地利用の規制、森林の公有化、開発行為等に対する適正指導に努める	環境森林保全室	林業振興事業	開発担当と連携し、開発行為等に対し、適正指導を行う。						開発担当（環境保全対策室）と連携し、開発行為等に対し、適正指導を行いました。（平成18年度伐採届の提出45件）

水辺環境の保全

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
水源かん養林及び河川上流域の森林の適正管理を推進し、河川水量の維持、地下水や湧水地の保全に努める	環境森林保全室	森林環境創造事業	森林の持つ公益的機能を効率的に発揮させるため、環境林を整備する。						8 認定地区 97.55 ha で事業を実施し、水源涵養、土砂流失の防止を図りました。（累計 413.97 ha）
水辺の美観については、清掃活動や草刈りなど美化活動を推進する	まちづくり推進室	調整池管理業務	調整池における草刈、堆積汚泥を除去する。						鷺山調整池の草刈を実施しました。調整池の浮草対策について検討を行い、19年度にみずきが丘調整池で試験的に対策を講じられよう準備を行いました。
	まちづくり保全室	市単独河川維持事業	管理河川における草刈、堆積汚泥を除去する。						管理河川（竜川）の草刈り河川 A = 1,982 m ² 及び堆積汚泥の除去を実施しました。

	まちづくり保全室	鈴鹿川クリーン作戦	鈴鹿川の清掃(国交省主催)に参加する。						10月14日、川と海のクリーン作戦に参加要請し、市内企業など約200人の参加がありました。
	環境保全対策室	亀山市地区衛生組織連合会	クリーン作戦、市内一斉清掃、環境美化パトロールを実施する。						7月8日に国道1号鈴鹿峠各所(新所交差点以西)及び河川敷きを約600人が参加し、国土交通省と共催でクリーン作戦を実施しました。11月12日に151自治会が市内一斉清掃を実施しました。2月13日から23日にかけて地区衛生組織連合会環境指導員により環境美化パトロールを実施しました。
	産業・観光振興室	鈴鹿国定公園協会関係事務	石水溪観光協会による石水溪保全事業(石水溪キャンプ地一帯の草刈り、清掃活動)に対し補助金を交付する。						石水溪観光協会による石水溪保全事業(石水溪キャンプ地一帯の草刈り、清掃活動)に対し補助金を交付しました。
農業用水として利用価値のなくなったため池についてはできる限り保存し、生態系の保全や環境美化に努める	農政室								

里山・農地の保全

里山の整備と活用

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
里山・農地・池が一体となった環境を保全する「環境再生事業」を推進する	環境保全対策室	里山公園管理事業(環境再生事業)	環境再生事業地を整備する。						
	環境保全対策室	里山公園管理事業(環境再生事業)	亀山里山公園「みちくさ」を利用したイベントを開催する。						5月7日にオープニングイベントを開催し、田植え体験を行いました。7月30日と8月26日にはザリガニ釣り大会を開催し、それぞれ60人程の参加を得ました。また、9月22日に東小学校の5年生を対象に稲刈り体験を、12月10日にリースづくりとしめ縄づくりを行いました。
	環境森林保全室	森林公園整備・活用事業	加太梶ヶ坂地内の市有林を森林公園として整備する。						平成19年度の整備構想・計画策定のため、市総合環境研究センター、市環境審議会への説明を行い、地元委員会及び環境市民大学院生による現地調査・検討会を開催しました。

里山管理を促すため、地域や市民団体が実施する里山管理の支援を行う	市民参画協働室	市民参画協働事業推進補助金交付	市民活動団体等へ補助金を交付する。					農地の保全に関する団体への交付は、全9件中1件ありました。(鹿伏尻山脈自然薯の会)
	農政室	中山間地域等直接支払事業	集落協定による耕作放棄農地の発生防止等の活動に対し交付金を交付する。					中山間地域等直接支払い制度(H17~H21)を活用し、集落協定による耕作放棄農地の発生防止等の活動に対し交付金を交付しました。 H18年度 11団地 継続実施しました。
	まちづくり推進室	自然の森公園整備事業	公園整備の調査・研究のため、自然に親しむイベント(自然観察会)を年1回開催する。					11月26日に開催(自然観察、クラフト)し、38名の参加がありました。
里山の重要性に関する意識啓発やイベントを実施する	農政室	棚田保全事業	坂本棚田野上がりまつりを支援し、都市住民との交流を通じて、里山に対する意識啓発に努める。(来場者2,000人)					坂本棚田野上がりまつりを支援し、都市住民との交流を通じて、里山に対する意識啓発に努めました。 6月4日、第6回坂本棚田野上がりまつりを開催しました。(来場者約1,000人)
	環境保全対策室	里山公園管理事業(環境再生事業)	亀山里山公園「みちくさ」を利用したイベントを開催する。					5月7日にオープニングイベントを開催し、田植え体験を行いました。 7月30日と8月26日にはザリガニ釣り大会を開催し、それぞれ60人程の参加を得ました。また、9月22日に東小学校の5年生を対象に稲刈り体験を、12月10日にリースづくりとしめ縄づくりを行いました。
	まちづくり推進室	自然の森公園整備事業	公園整備の調査・研究のため、自然に親しむイベント(自然観察会)を年1回開催する。					11月26日に開催(自然観察、クラフト)し、38名の参加がありました。

農地の保全と活用

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
(耕作放棄地を)市民農園や農業公園として整備、有効に活用し、また、景観形成作物の栽培を促進する	農政室	ふれあい農園管理事業	使用期間満了などによる速やかな補充、また、維持管理を行う。(利用率100%)						市民農園については、使用期間満了などによる速やかな補充、また、維持管理を行い、有効活用を図りました。利用率 99%
	農政室	田園景観推進事業	生産調整による景観作物を栽培し、コスモス祭等のイベントを開催する。						景観形成作物の栽培面積 9.3ha

(耕作放棄地を)農業体験や環境教育の場、水生生物の生息環境としての利用を促進する	環境保全対策室	里山公園管理事業 (環境再生事業)	環境再生事業地を整備する。						
	環境保全対策室	里山公園管理事業 (環境再生事業)	亀山里山公園「みちくさ」を利用したイベントを開催する。						5月7日にオープニングイベントを開催し、田植え体験を行いました。7月30日と8月26日にはザリガニ釣り大会を開催し、それぞれ60人程の参加を得ました。また、9月22日に東小学校の5年生を対象に稲刈り体験を、12月10日にリースづくりとしめ縄づくりを行いました。

生物の多様性の確保

生育・生息空間の保全

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
開発行為等に対する適正指導に努める	環境保全対策室	環境保全一般	開発行為届出書提出時に事業者に対して環境に配慮する旨の依頼文書を渡し、指導を行う。						開発行為届出書提出時に事業者に対して環境に配慮する旨の依頼文書を渡し、指導を行いました。開発行為受付件数113件(うち取り下げ4件)
治山・治水事業にあたっては、動植物の生育・生息環境に配慮した工法を導入する	環境森林保全室	林業振興事業	危険箇所を調査し、治山事業により土砂流失、山地災害の防止、自然環境に配慮した工法の導入を図る。						18年度は、工事はありませんでした。
希少な動植物については、生育・生息環境を指定して保全し、保護を行う	環境森林保全室	野生動物等の保護							

生育・生息空間の復元

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
森林環境創造事業の環境林整備により、有害鳥獣とされるシカやサルなどが生息できる環境を誘導する	環境森林保全室	森林環境創造事業	森林の持つ公益的機能を効率的に発揮させるため、環境林を整備する。						8認定地区97.55haで事業を実施し、中下木層の生育を助長し、野生生物の住みよい環境づくりを進めました。（累計413.97ha）
有害鳥獣類については、農林業被害の現状把握を進めるとともに、頭数管理など有効な防止対策を実施する	農政室	有害鳥獣による農作物に対する被害対策	電柵等補助、捕獲檻の設置、巡視員による監視、ロケット花火の提供を行う。						獣害被害対策防止事業補助(32件)、サル巡視員による被害状況調査(マップまとめ)、追払用火火の随時支給、捕獲檻によるサル駆除を行いました。
	環境森林保全室	野生動物等の保護							
森林や水辺など、多様な環境の連続性が確保されるよう努める	まちづくり保全室	市単独河川維持事業	河川改修及び維持管理に際して可能な範囲で多自然型工法の採用する。						18年度は、事業がありませんでした。
	環境森林保全室	森林環境創造事業	森林の持つ公益的機能を効率的に発揮させるため、環境林を整備する。						8認定地区97.55haで事業を実施しました。（累計413.97ha）
河川・水路やため池については、多自然型工法による水辺整備を推進する	まちづくり保全室	市単独河川維持事業	河川改修及び維持管理に際して可能な範囲で多自然型工法の採用する。						18年度は、事業がありませんでした。
耕作放棄地を水生生物の生息環境として利用する	環境保全対策室	里山公園管理事業（環境再生事業）	環境再生事業地を整備する。						
	環境森林保全室	森林公園整備・活用事業	加太梶ヶ坂地内の市有林を森林公園として整備する。						平成19年度の整備構想・計画策定のため、市総合環境研究センター、市環境審議会への説明を行い、地元委員会及び環境市民大学院生による現地調査・検討会を開催しました。
	農政室								

在来種保護の推進

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
市内に生育・生息する動植物のデータベースを作成する	歴史博物館	市史編さん事業	平成22年までに編集専門部会(自然分野)で自然環境に関する部分の市史を編さんする。						代表者会議を3回実施し、各分野の進捗状況を確認しました。また、17年度の調査活動報告書を作成しました。地質分野の中間報告を市史編さんのホームページで公開開始しました。
	環境保全対策室								
継続的な生物調査を実施し、動植物の分布状況を把握・監視する	環境保全対策室								
外来動植物については、注意事項等の情報提供に努める	環境森林保全室	野生動物等の保護	移入種の生物を捨てることによる生態系への悪影響を広報する。						8月16日広報誌で広報しました。
市民参加による外来種駆除活動を支援し、本市の在来種に影響を及ぼさないよう努める	環境森林保全室	野生動物等の保護	市民参加によるため池等外来種駆除活動を支援する。						支援を行う活動がありませんでした。

自然とのふれあいの創出

ふれあいの場の創出

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
自然公園、散策路、親水性に配慮した水辺の整備を推進する	まちづくり推進室	自然の森公園整備事業	公園整備の調査・研究のため、自然に親しむイベント(自然観察会)を年1回開催する。						11月26日に開催(自然観察、クラフト)し、38名の参加がありました。
	農政室	棚田保全事業	坂本地区棚田保存会へ補助金支出する。						

	農政室	中山間地域等直接支払事業	集落協定による耕作放棄農地の発生防止等の活動に対し交付金を交付する。(坂本地区のみ)						交付金を交付しました。(坂本地区20.7ha)
	産業・観光振興室	東海自然歩道維持管理業務	東海自然歩道等の維持管理を行う。						三重県から東海自然歩道の維持管理を受託、市よりパトロール員へ維持管理を委託し、維持管理を行っています。仙ヶ岳一帯の登山道補修につき石水溪観光協会へ作業を委託しました。観音山公園の維持管理を実施しました。石水溪キャンプ場等の維持管理を地域社会振興会へ委託しました。石水溪観光協会による石水溪保全事業に対し補助金を交付しました。
里山や農地といった民有地の市民への開放を促進する	農政室	ふれあい農園管理事業	使用期間満了などによる速やかな補充、また、維持管理を行う。(利用率100%)						市民農園については、使用期間満了などによる速やかな補充、また、維持管理を行い、有効活用を図りました。(利用率99%)
	環境森林保全室	森林公園整備・活用事業	加太梶ヶ坂地内の市有林を森林公園として整備する。						平成19年度の整備構想・計画策定のため、市総合環境研究センター、市環境審議会への説明を行い、地元委員会及び環境市民大学院生による現地調査・検討会を開催しました。

ふれあいの機会の創出

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
市民による環境資源マップ作成を行い、自然とふれあうことができる場の情報が容易に入手できるよう努める	市民参画協働室	市民活動支援事業	亀山市のいいところマップ作成を支援する。						亀山資源マップを市民と一緒に作成するため、3月16日号広報で参加者を募集しました。
	環境保全対策室								
	産業・観光振興室	各種観光情報の提供事務	全市観光パンフレットを作成し、自然資源についての観光情報を提供する。						石水溪パンフレットをリニューアルしました。(5,000部)観光パンフレットの増刷を予定しています。(5万部)
自然資源を活用したイベントを開催する	農政室	棚田保全事業	棚田まつり、お茶まつり、コスモスマつりを開催する。						6月4日に坂本棚田野上がりまつり、10月14日に青空お茶まつり、10月15日に太田コスモスマつりを開催しました。

	産業・観光振興室	観光行事開催補助事業（関宿納涼花火大会、街道まつり他）	亀山城さくらまつり、観音山春まつりを開催する。						4月8日の亀山城桜まつり、4月9日の観音山春まつり開催にそれぞれ補助金を交付しました。
	環境保全対策室	里山公園管理事業（環境再生事業）	亀山里山公園「みちくさ」を利用したイベントを開催する。						5月7日にオープニングイベントを開催し、田植え体験を行いました。7月30日と8月26日にはザリガニ釣り大会を開催し、それぞれ60人程の参加を得ました。また、9月22日に東小学校の5年生を対象に稲刈り体験を、12月10日にリースづくりとしめ縄づくりを行いました。
自然観察指導員等の育成・紹介により、積極的に自然に学ぶ活動を支援する	環境森林保全室	野生動物等の保護							

3 快適な生活環境の創造（安心）

生活排水対策の推進

排水処理対策の推進

【記号の意味】

当該年度以降で検討

検討

実施（検討含む。）

継続

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
下水道等を計画的に整備するとともに、供用開始区域における早期接続を促進する	廃棄物対策室	一般廃棄物処理基本計画(生活排水)	生活排水処理基本計画策定する。						
	廃棄物対策室	一般廃棄物処理基本計画(生活排水)	生活排水処理率を向上する。(平成22年度72.6%)						平成18年度末 64.3%
	下水道室	流域関連公共下水道事業	公共下水道を着実に整備する。(平成22年度計画人口20,880人)						平成18年度末 供用区域内人口15,529人
	下水道室	普及啓発事業	公共下水道を着実に整備する。(平成22年度接続率42.4%)						市広報へ下水道特集を掲載し普及促進を図りました。(接続率平成18年度末22.7%)
	下水道室	農業集落排水整備事業	農業集落排水施設を着実に整備する。(平成20年度市瀬、坂下地区、平成21年度南部地区)						坂下地区・市瀬地区、平成19年度供用開始予定。南部地区、平成20年度供用開始予定。
	下水道室	普及啓発事業	農業集落排水施設を着実に整備する。(平成22年度累積戸数1,911戸)						市広報へ下水道特集を掲載し普及促進を図りました。(累積戸数平成18年度末1,495戸)
下水道整備区域外においては、合併処理浄化槽の普及促進、浄化槽の適正管理の啓発・指導に努める	上下水道管理室	小型合併処理浄化槽設置事業補助金(補助)	合併処理浄化槽を着実に整備する。(平成18年度124基、平成19~21年度各104基)						89基の合併処理浄化槽へ補助金を交付しました。

発生源対策の推進

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
市民参加型の水質調査や美化活動、生活排水対策講座などを実施し、生活排水への配慮を促す	環境保全対策室	鈴鹿川浄化対策促進協議会	水生生物調査を行う。						水生生物調査を7月に実施し、16名参加しました。（大人8 子供8）
	環境保全対策室	環境保全一般	環境保全啓発用品（水切りネット）配布する。						環境月間（6月）に水きりネットを市内全戸に配布しました。
	下水道室	普及啓発事業	公共用水域の水質保全に関する啓発活動を実施する。台所等での排出抑制対策を、広報、ホームページ、パンフレット、地区集会等で周知する。						工事説明会、供用開始説明会等で計10回啓発しました。また、広報に12回掲載しました。
水質調査結果を公開して水質に対する関心を深めるとともに、調査の継続・強化を行う	環境保全対策室	水質等環境調査委託	市内河川等の水質等環境調査を行う。						市内31箇所（箇所の）の河川調査を行いました。実績は環境基準と照らし合わせて、亀山市の環境及びホームページで公開しました。
	環境保全対策室	亀山市環境審議会	環境報告書「亀山市の環境」を毎年度作成・公表する。						平成18年度版「亀山市の環境」を作成しました。
	下水道室	農業集落排水事業							

道路交通対策の推進

交通流対策の推進

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
市内移動の有効手段としてのバスの活用、快速列車の増発やバス 鉄道の乗り換え利便性の向上に向けた働きかけをおこなう	産業・観光振興室	新地域生活交通再編事業	鉄道利用を促進すべく、沿線自治体等と連携し、利用促進活動を実施する。						輸送量の増強、増便等を実現させるため、県・沿線自治体と連携を図りJR東海及び西日本へ要望や利用促進活動（車内PRポスター作成、沿線探訪ツアー（伊賀市）開催支援等）を実施しました。

駅付近の駐車場・駐輪場の充実などにより、公共交通機関の利用促進を図る	企画経営室	放置自転車対策	亀山駅、下庄駅の放置自転車の対策を総括的に行う。						まちづくり推進室において井田川駅の放置自転車45台を9月27日に撤去しました。
	まちづくり推進室	井田川駐輪場管理	井田川駅、関駅等の放置自転車の対策を行う。						井田川駅で放置自転車調査を実施し、約50台の放置自転車を撤去しました。
	まちづくり推進室	都市基礎調査常務委託	パークアンドライドを含めて駅前、中心市街地の活性化、景観保全、都市施設の在り方を整理し検討する。						亀山市都市計画基礎調査を実施しました(12月~3月)。その中で、都市課題に対して、庁内意見交換会を4回開催し検討しました。
渋滞が発生する箇所については、路上駐車の一掃や道路構造の改善に努める	まちづくり整備室	地方道路交付金事業	道路改良事業の推進により、交通渋滞の緩和に努める。						道路改良事業によって交通渋滞の緩和に努めました。また、9路線事業で5路線完成しました。
通過交通の市街地への流入を防止するため、効果的な道路網整備に努める	まちづくり整備室	合併特例債道路整備事業	バイパスルート計画を行う事で、住環境に配慮し住宅地への通過交通の流入防止の軽減を図る。(野村布気線・和賀白川線)						1路線については、交差点改良工事を完成しました。残る1路線については、平成19年度用地買収に着手できるよう路線測量等を完成しました。バイパスルート計画を行うことで実施目標の軽減を図ることに努めました。(野村布気線、和賀白川線)

環境対策の推進

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
道路交通騒音など必要な調査を実施して監視に努め、排水性舗装、防音壁、緑地帯の設置など必要な対策を実施する	まちづくり整備室	公共事業住民要望の調整(県等)	騒音に関する自治会要望書を国へ伝達する。						10月24日、国土交通省が騒音調査を実施しました。国道1号線(太岡寺地区)で遮音壁工事が完成しました。
環境に配慮した運転と車両の適正管理の啓発に努める	地域づくり・相談室	亀山交通安全対策事業	各種交通安全講習会において、経済速度の運行及び車両の適正管理の啓発を行う。						4月9日、シルバーキースクール、9月24日高齢者、事業所競技大会で啓発を行いました。
交通公害に関する指導・監視体制を強化する	環境保全対策室	水質等環境調査委託	大気調査を実施し、交通公害に関する状況を把握する。						大気調査を業者に委託し実施しました。

国等の補助制度の活用などにより低公害車の普及を促進する	財務室	公用車の管理							
	財務室	公用車の管理	公用車（特殊業務使用車を除く。）のうち、軽自動車、小型貨物、小型及び普通乗用車について、30台を低公害車に買い替える。（新規購入含む。）						低公害車14台の購入予算の議決を得ました。 （買い替え10台、新規4台、計14台）
	環境森林保全室	地球温暖化防止対策地域推進計画策定事業	地球温暖化防止地域推進計画を策定する。						地球温暖化防止地域推進計画の策定のため、新エネルギービジョンの策定と調整を図るため、担当室と協議を行いました。
	環境保全対策室	環境保全一般	低公害車の普及に対する国等の補助制度をホームページ等に掲載する。						亀山市の環境のホームページに掲載しました。

環境に配慮した事業活動の促進

化学物質対策の推進

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
化学物質の適正な管理・使用・処理に関する指導を行う	環境保全対策室	環境保全協定（公害防止協定）	指定化学物質の管理計画の策定及びその提出を指導する。						平成19年3月末現在 環境保全協定書 44事業所締結 平成18年度 事前協議20件
事業所内の土壌や地下水の自主測定を促進する	環境保全対策室	環境保全協定（公害防止協定）	環境保全協定（公害防止協定）を締結する。						平成19年3月末現在 環境保全協定書 44事業所締結 平成18年度 事前協議20件
化学物質に関する緊急時対応マニュアル策定等の指導に努める	環境保全対策室	環境保全協定（公害防止協定）	環境保全協定（公害防止協定）を締結する。						平成19年3月末現在 環境保全協定書 44事業所締結 平成18年度 事前協議20件

産業公害の防止

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
規制基準等法令の周知と指導、環境保全協定の締結を進める	環境保全対策室	環境保全協定（公害防止協定）	環境保全協定（公害防止協定）を締結する。						平成19年3月末現在 環境保全協定書 44事業所締結 平成18年度 事前協議20件
	環境保全対策室	鈴鹿川浄化対策促進協議会	環境保全協定（公害防止協定）を締結する。						平成19年3月末現在 鈴鹿川浄化対策促進協議会 覚書 48事業所締結
必要に応じて、事業所に対する立入検査を実施する	環境保全対策室	環境保全協定（公害防止協定）	悪臭等苦情に対する立ち入りを行う。						平成18年度環境保全協定に基づく悪臭等苦情に対する立ち入りを4件実施しました。
市民と連携した監視・通報体制を確立する	環境保全対策室	亀山市地区衛生組織連合会	環境指導員の設置し、環境美化パトロールを実施する。						市内に環境指導員を90人委嘱し、平成19年2月13日～23日には環境美化パトロールを実施しました。
深夜や早朝作業など迷惑行為に対しては指導を行う	環境保全対策室	環境保全一般	苦情があれば対応する。						平成18年度悪臭等苦情に対する立ち入りを24件実施しました。（大気1、水質2、騒音2、悪臭2、野焼き15、その他2）
適正な都市計画と工業地域の集約を行い、住工混在の解消に向けた誘導を行う	まちづくり推進室	都市マスタープラン策定事業	都市マスタープランを策定する。						亀山市都市計画基礎調査を実施しました（12月～3月）。その中で、都市課題に対して、庁内意見交換会を4回開催し検討しました
	企画経営室	第1次亀山市総合計画策定事業	第1次亀山市総合計画を策定する。						平成18年7月14日の総合計画審議会へ基本構想素案を諮問。平成19年3月12日市議会定例会において全会一致で基本構想は可決されました。
	産業・観光振興室	企業立地及び誘致に関する業務	進出希望企業に対し、環境上の規制等について十分説明を行い理解を求めするなど、企業との調整を行った上で立地協定を締結する。						平成18年度においては、新規立地企業がありませんでした。

環境保全型農業の促進

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
農薬や化学肥料の使用量に配慮した環境保全型農業を促進する	農政室	農業振興業務	農薬の低減のため、病害虫の共同防除事業に対し補助金交付する。また、ポジティブリスト制度開始に伴う研修会等へ参加する。						農薬の低減のため、病害虫の共同防除事業に対し補助金交付（115ha）し、引き続きポジティブリスト制度開始に伴う研修会等への参加しました。
農業系廃棄物の適正処理を促進する	農政室	畜産業対策事業	畜産農家に対して定期巡回指導（月2回）や随時指導を行う。						畜産農家に対する定期巡回指導（月2回）や随時指導しました。
	廃棄物対策室	廃棄物処理手数料	事業系廃棄物が適正に処理できるよう、指導を行うとともに、許可証の発行を行う。						事業系廃棄物が適正に処理できるよう、事業者に対し指導を行うとともに、産業廃棄物処理許可証の発行を行っています。（産業廃棄物処理許可証発行数335件）
消費者に対しては、農薬に関する学習機会や情報の提供に努める	農政室	ふれあい農園管理事業	インストラクターによる巡回指導（月2回）により、農薬、肥料の適正な使用等について指導する。						市民農園インストラクターによる巡回指導（月2回）により、農薬、肥料の適正な使用等について指導しました。
	環境保全対策室								

自主的取り組みの促進

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
事業者が ISO14001 や県の小規模事業所向け EMS (M-EMS) など環境管理システムを構築できるよう支援する	産業・観光振興室	中小商業レベルアップ事業	市内中小商業者を対象とした研修会にてミームス推進について説明する。						
	環境保全対策室	環境管理システム構築支援事業	ISO14001 や県の小規模事業所向け EMS (M-EMS) など環境管理システムを構築できるよう支援を検討する。						環境管理システムを構築するための支援について、3月に関係室と協議しました。
	行政改革室	ISO14001 環境マネジメントシステム推進事業	ホームページによる情報提供、EMS 導入相談、率先事例の紹介などを行う。						ホームページで ISO14001、エコアクション 21 等を照会しています。また、7月7日～12日 CTV で「クールビズ」を紹介しました。
事業者の低騒音型機器への転換など公害対策への支援を実施する	環境保全対策室	環境保全協定(公害防止協定)							
事業者の環境負荷低減に関する情報交換の場を設置します	環境保全対策室	環境保全協定(公害防止協定)							
事業者による自主測定結果の公表など情報提供を促進する	環境保全対策室	鈴鹿川浄化対策促進協議会	鈴鹿川浄化対策促進協議会覚書の締結を推進する。						平成19年3月末現在 鈴鹿川浄化対策促進協議会 覚書 48事業所締結
	環境保全対策室	環境保全協定(公害防止協定)	環境保全協定の締結の際、項目に盛り込む。						平成18年度 環境保全協定締結 1件
美化活動への参加など地域貢献活動の促進を図る	環境保全対策室	亀山市地区衛生組織連合会	クリーン作戦、市内一斉清掃、環境美化パトロールを実施する。						7月8日に国道1号鈴鹿峠各所(新所交差点以西)及び河川敷きを約0600人が参加し、国土交通省と共催でクリーン作戦を実施しました。11月12日に151自治会が市内一斉清掃を実施した。平成19年2月13日～23日に地区衛生組織連合会環境指導員により環境美化パトロールを実施しました。

快適な生活空間の創出

歴史的町並みの保存と整備

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
歴史的雰囲気を感じることができる町並みの保存・整備を推進する	まちなみ・文化財室	伝統的建造物群保存修景事業	歴史的町並みの保存・整備をすすめ、歴史的景観の保護とともに、快適な生活空間を創出する。						保存地区内において、10件の修理修景事業を実施しました。
町並み保存活動に対する支援を行う	まちなみ・文化財室	町並み保存一般事業	町並み保存関連住民団体へ補助金等の活動支援を行う。						日常的・継続的に行っている補助金等交付が2団体、活動支援が2団体であり、建築の専門技術を有する市内在住者を組織化した、新たな団体の設立について支援を行いました。
歴史的資源マップ等を作成して活用するとともに、まちの歴史文化に対する保全意識の高揚に努める	まちなみ・文化財室	歴史街道遺産活用事業	地域文化財の周知を図り、広く市民活動を行える環境を整備する。						市内5箇所に標柱・説明板を設置するとともに、坂下宿・亀山宿、及び宿場周辺の東海道に関するパンフレットを作成しました。
	まちなみ・文化財室	東海道歴史回廊保存整備基本計画策定事業	東海道歴史文化回廊整備について基本方針を策定する。						「東海道歴史文化回廊の創出に関する方針」を策定しました。
	情報計画統計室	地図情報システム整備調査研究	地理情報システム(GIS)を導入する。						県下全市町と県との共同でデジタル地図の導入を決定し、事業主体を県自治会館組合とし、7月に空中写真を、19年2月にデジタル地図作成作業に着手しました。

住みよいまちの形成

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
景観計画や地区計画などによる良好な景観の誘導を図る	まちづくり推進室	都市マスタープラン策定事業	都市マスタープランを策定する。						亀山市都市計画基礎調査を実施しました(12月~3月)。その中で、都市課題に対して、庁内意見交換会を4回開催し検討しました。
	まちなみ・文化財室	伝統的建造物群保存修景事業	歴史的町並みの保存・整備をすすめ、歴史的景観の保護とともに、快適な生活空間を創出する。						保存地区内において、10件の修理修景事業を実施しました。

公園については、市民ニーズや地域環境を取り入れた配置・整備に努める	まちづくり推進室	市単独公園整備事業	市民の意見を採り入れて公園を整備する。							地元要望により、関富士ハイツ公園の一部改修工事（グラウンド等）を実施しました。
環境美化に関する里親制度など市民参画による公園等の適切な維持・管理を進める	まちづくり推進室	公園等施設維持管理事業	地元子供会に報奨金を交付し、地元管理を行っている。							亀山地域社会振興会から地元子供会に報奨金を交付し、地元管理の啓発を行いました。（実績 14団体 500,000円）
都市部では緑化の推進と適正管理を推進する	まちづくり推進室	緑地管理	隣接宅地及び道路視界に影響を与える箇所は重点的に対応する。（対応箇所数10ヶ所程度）							シルバー人材センターに委託し、特に隣接宅地及び道路視界に影響を与える箇所は重点的に対応しました。（対応箇所数10ヶ所程度）
街路樹については、樹種選定や管理方法について市民要望の反映に努める	まちづくり保全室	街路樹管理委託	街路樹の剪定高や消毒時期に関しては、市民の要望を反映する							
公共施設や公益的施設のバリアフリー化を推進する	建築住宅室	バリアフリー関係事務	バリアフリー関係受付等事務の中で、建築物のバリアフリー化の推進の一翼を担う。							学校施設の耐震改修工事において、井田川小学校校舎、関小学校校舎などの一部を工事施工しました。
	高齢・障害支援室	ユニバーサルデザイン（バリアフリー）の普及啓発事業	ユニバーサルデザイン（バリアフリー）の啓発・PRを行う。							ボランティア教室（小中学生1回）三重大学（2回）各小中学校（3回）にてユニバーサルデザインの講習を実施しました。
狭隘道路の拡幅、歩車道の分離や段差の解消など、すべての人に配慮した道づくりを推進する	まちづくり整備室	道路新設改良事業	歩道のフラット型を取り入れて道路を設計する。							道路改良事業において歩道のフラット型を取り入れました。

まちの美観の向上

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
公共工事にあたっては、美観の向上に配慮	まちづくり整備室	合併特例債道路整備事業	鈴鹿川橋梁の計画において景観醸成にも配慮した設計を進める。（平成25年完成予定）						鈴鹿川橋梁の計画において道路橋梁としての機能だけではなく亀山市のシンボルとしてふさわしい景観醸成にも配慮した設計を進めています。

	建築住宅室	公共建築物の建設及び維持修繕	公共建築物の建設及び維持修繕の設計、技術援助等で美観の向上に配慮する。					学校施設の耐震改修工事において、美観の向上（校舎の外壁改修等）に配慮して工事施工（件数7件）を行いました。
	下水道室	農業集落排水事業	処理施設の屋根など上屋を周辺環境と調和させる。					平成19年度 南部地区、坂下地区、市瀬地区の施設で実施予定。
看板や屋外広告物、放置自転車や放置自動車については、早期撤去に努めるとともに防止対策の強化を図る	まちづくり推進室	屋外広告物規制監視業務	道路パトロールなどにおいて屋外広告物を除去する。					通報により3件の違反広告物を除去しました。
	企画経営室	放置自転車対策	亀山駅、下庄駅の放置自転車の対策を総括的に行う。					まちづくり推進室において、9月27日に井田川駅の放置自転車45台を撤去しました。
空き地の雑草管理に関して啓発・指導を実施する	地域づくり・相談室	各種相談事業	自治会からの苦情相談等に応じて所有者に土地管理のお願い文章を送付する。					土地所有者に土地管理のお願い文書を送付しました。（処理件数9件）
	亀山消防署	防火診断、枯草等の調査及び防火指導に関すること。	一般家庭防火診断を実施し、火災予防に対する啓発を行う。（平成20年までに20地区）					秋季火災予防運動期間中の11月11日、12日の両日に、みずきが丘で254世帯を対象に、また春季火災予防運動期間中の19年3月3日、4日の両日に、みずきが丘(秋季の継続)で106世帯、川合町(新道自治会、メーブル川合自治会、山田自治会)で116世帯を対象にそれぞれ実施しました。
	関消防署	防火診断、枯草等の調査及び防火指導の実施	一般家庭防火診断を実施し、火災予防に対する啓発を行う。（平成20年までに関町全地区）					11月11日・12日に関町加太地区(板屋、梶ヶ坂、神武)で124世帯、19年3月3日・4日に関町加太地区(向井、市場)で128世帯において一般家庭防火診断を実施し、火災予防に対する啓発を行いました。
	地域づくり・相談室	環境衛生対策事業	家屋消毒機械貸出を実施する。					136自治会が実施しました。
ポイ捨てやふん害の防止に関して、啓発・指導を実施する	環境保全対策室	亀山市地区衛生組織連合会	不法投棄防止等の啓発看板を自治会等に配布する。					各自治会等に配布しました。（不法投棄防止178枚、犬の糞防止180枚）
	健康推進室	畜犬登録	広報に正しい犬の飼い方等についての記事を掲載し啓蒙を行う。また、「犬のふん害について」のピラを配布、飼い主に助言する。					狂犬病の4月集合注射時に「犬のふん害について」のピラの配布を、飼い主に直渡し助言しました。また、窓口にて犬の注射済票交付時にも同様のピラ配布を行いました。（約1,200枚）

4 循環型社会の構築（循環）

ごみ減量と再利用・再生利用の推進

ごみの発生抑制

【記号の意味】

当該年度以降で検討

検討

実施（検討含む。）

継続

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
過剰包装の抑制や買い物袋持参運動の普及促進により、ごみとなるものの発生を抑制する	廃棄物対策室	レジ袋削減運動	亀山市レジ袋連絡会議主体で、過剰包装抑制・買い物袋持参運動を展開する。						市民団体、事業者、行政で構成する「亀山市レジ袋連絡会議」を開催し、活動について検討しました(8月)。また、3月開催の環境フェスティバル内ブースにおいて、マイバッグの絵付やポスター掲示にて啓発を行いました。
啓発活動により、ごみを出さないという意識の形成を促すとともに、ごみ指定袋の導入など効果的な排出抑制策を検討する	廃棄物対策室	指定ごみ袋導入事業	規格を統一した指定ごみ袋の導入を検討する。						6月に住民意向調査を行いました。その結果を踏まえ、市民に十分理解いただける導入方法について検討しました。

ごみ減量の推進

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
家庭から出る生ごみについては、生ごみ処理機器購入費補助などにより堆肥化を促進する	廃棄物対策室	生ごみ処理容器購入費補助金	生ごみ処理容器購入費補助金を交付する。						生ごみの堆肥化を促進すべく、生ごみ処理容器購入費に対する補助金の交付を行いました。(件数66件、補助金額1,200,400円)
事業者に対しても支援制度の導入を検討するなど、ごみ減量化を積極的に推進する	廃棄物対策室	生ごみ処理容器購入費補助金	生ごみ処理容器購入費に対する補助対象を事業所にも拡大する。						
公共施設においては、生ごみ処理機を設置して堆肥化を推進する	廃棄物対策室		学校等の公共施設に生ごみ処理機を設置する。						

学校や事業所などから出る廃食油のリサイクルを進める	教育総務室	小学校施設維持管理事業	廃食油をリサイクルし、燃料化する。					廃食油回収業者においてリサイクルを行いました。(200kg×11本)
	廃棄物対策室							
剪定枝や雑草、家畜ふん尿等の有効利用を促進する	まちづくり保全室	街路樹管理委託	街路樹管理で発生した剪定枝を堆肥として有効利用する。					剪定枝は、堆肥に有効利用しています。平成18年度は40,730kgを堆肥化しました。
	農政室	畜産業対策事業	県営事業で整備された農地(安知本)に畜産農家のふん尿を肥料として還元し、耕畜連携による農業の推進を図る。					18年度は水田所有者の判断により実施されませんでした。
	廃棄物対策室	刈り草コンポスト化事業	機器設置し、刈り草の受入れる。(平成18年度1,500t)					1051.25トンを受け入れました。
	廃棄物対策室	刈り草コンポスト化事業	刈り草コンポストの利用を検討する。					平成19年1月、コンポストの効果について実証実験を行うため、周辺田畑所有者の協力を得て、実験地の整備を行いました。
エコッキングなどごみ減量に関する講習会を開催する	健康推進室	ファミリーッキング	エコッキングを実施し、ファミリーッキング参加者に周知をはかる。					8月22日に教室を開催し、その3か月後にアンケート調査にて評価を行いました。参加者11名(大人4名、子ども7名)のうち、10名(大人4名、子ども6名)に回答して頂いた。その結果、エコに関心が持てた方は全体で100%、また大人で100%、子どもで67%の方が参加後もエコッキングを続けていると回答されました。
ごみ処理費用の公開など、ごみ減量意識の向上に努める	廃棄物対策室	廃棄物対策一般事務費	亀山市の環境、広報、ホームページ等を利用して紹介する。					ごみカレンダー、ごみの分別方法、ごみリンピックの開催等、ホームページや広報等を活用して紹介を行いました。
溶融炉の廃熱利用による堆肥化処理能力の向上を図る	廃棄物対策室	廃熱利用温水供給施設建設事業	溶融炉の廃熱利用を検討する。					溶融炉運転管理委託業者も交え、小規模実験(平成19年度開始予定)を検討しました。
コンポストの市民農園での使用、コンポストを使って作った野菜の市場等により、コンポストの利用を促進する	農政室	ふれあい農園管理事業	園内の雑草や残野菜はすべて堆肥施設で熟成させ、堆肥として農園へ還元する。					市民農園内の雑草や残野菜はすべて園内に設置した5箇所の堆肥施設を活用し熟成させ、順次堆肥として農園へ還元しました。

再使用・再生利用活動の活性化

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
分別方法の周知を徹底する	廃棄物対策室	ごみカレンダーの作成	ごみカレンダーを作成・配布し、ホームページにも掲載する。また、随時、早朝指導を行う。						ごみカレンダー20,500部(日本語版)、1,900部(外国語版)を作成、3月15日号広報と併せて各戸配布を行いました。また、ホームページにも掲載しました。なお、早朝指導については平成18年度には実施しませんでした。
資源の分別収集品目を追加する	廃棄物対策室	一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理)	一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理)を策定する。						
フリーマーケットや不用品交換会を行う	環境保全対策室	総合環境研究センター事業	イベントの中でフリーマーケットや不要品の交換会を行う。						
	市民参画協働室	市民活動広報事業	フリーマーケットを行う団体の紹介						照会件数なし。市民協働センターにおけるガレージセール(不用品交換)を検討しました。
市民団体等による資源回収活動の支援を行う	廃棄物対策室	再生資源集団回収報奨金	市民団体による、資源回収量に応じて報奨金の交付を行っている。						市民団体による、資源回収活動の支援として、回収量に応じて報奨金の交付を行っています。(登録団体数99(活動団体数43)、回収量377,086Kg、交付金額2,050,432円)
販売店による資源等の店頭回収を促進する	廃棄物対策室								
リターナブルびんなど再使用可能な製品の普及、リサイクルしやすい製品の製造・普及などを促進する	廃棄物対策室								
グリーン購入の普及促進と製品に関する情報提供により、再生品利用を促進する	契約調達室	物品購入(グリーン購入)	環境に配慮した物品の調達を推進し、率先行動を実施する。						グリーン購入方針に基づき、対象物品の購入を推進しました。
	廃棄物対策室	グリーン購入推進事業							
公共工事で発生する建設副産物等の再生利用、リサイクル資材・商品廃材等の使用を進める	建築住宅室	公共建築物の建設及び維持修繕	公共建築物の建設及び維持修繕の設計、技術援助等の中での使用を推進する。						設計書内に使用可能なリサイクル材(再生砕石、再生アスファルト)を明記し、使用の推進を図りました。(現在のリサイクル品目数:2品目)
	環境森林保全室	林道維持管理業務	工事におけるリサイクル製品の使用を促進する。						設計書内の仕様書に使用可能なリサイクル材を明記し、使用の推進を図りました。(現在のリサイクル品目数:3品目)

	下水道室	南部地区農業集落排水整備事業	工事におけるリサイクル製品の使用を促進する。					公共工事におけるリサイクル資材の活用を図りました。平成18年度は、指定した8品目中3品目を使用しました。
	上水道室	亀山配水池計装電気設備改良工事	工事におけるリサイクル製品の使用を促進する。					施行業者の指導により実施しました。
	まちづくり推進室	自然の森公園整備事業	工事におけるリサイクル製品の使用を促進する。					のぼりの森整備工事で、リサイクル製品・資材を使用しました。(砕石、コンクリート側溝等)
	まちづくり保全室	市単道路修繕工事等	工事におけるリサイクル製品の使用を促進する。					
	まちづくり整備室	道路新設改良事業	工事におけるリサイクル製品の使用を促進する。					改良工事と維持修繕工事で公共工事においてリサイクル製品・資材を使用しました。アスファルト合材、砕石、コンクリート側溝二次製品については、ほぼすべてにリサイクル製品を使用しました。
溶融スラグについては、道路や砂場などへの活用方法を検討する	廃棄物対策室	溶融炉運転管理業務委託	スラグのJIS化の動きにあわせて埋設のクッション材、コンクリートの細骨材等への利用を検討する。					スラグのJIS化(平成18年7月)を受け、埋設のクッション材、コンクリートの細骨材等への利用及び品質管理(平成19年度より予定)について検討しました。
排出された不用物の修理・有効利用を行う施設の整備を推進する	廃棄物対策室	旧焼却炉解体事業	修理等行う施設の整備・運営を検討する。					10月23日、環境省で補助金の打ち合わせをしました。
市主催のイベント時などにデポジット制を導入し、容器回収と環境意識の醸成を図る	行政改革室	ISO14001環境マネジメントシステム推進事業	エコイベント推進委員会(年3回)を開催し、エコイベントマニュアルを作成・見直す。					8月及び平成19年2月の2回エコイベント推進委員会を実施し、成果の検証を行ったり、具体的なマニュアルの変更を行いました。

ごみの適正処理の推進

不法投棄の防止

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
市民や道路管理者、近隣自治体との連携、不法投棄監視システムの拡充などにより、不法投棄監視体制の強化を図る	環境森林保全室	不法投棄監視事業	必要な場所や要望に応じて監視カメラを設置する。						新たな不法投棄を抑止するため、2台のカメラを新設しました。（合計38台）
	環境森林保全室	環境パトロール	巡回パトロールを行い、ポイ捨てごみの回収や、不法投棄の適正な処理に努める。						地域の環境保全のため、巡回パトロールを行い、ポイ捨てごみの回収や、不法投棄の適正な処理に努めました。（パトロール回数96回、回収量17,490キロ）
	予防室	（1）危険物の規制に関すること	危険物施設361施設を中心に年間30施設程度（最低ライン20）の特別査察を実施する。						
	予防室	（1）危険物の規制に関すること	設置後30年を経過した危険物施設の立入検査を実施する。（平成19年度までに42施設）						危険物施設の立入検査を29施設で実施しました。
	情報計画統計室	地図情報システム整備調査研究	地理情報システム（GIS）を導入する。						県下全市町と県との共同でデジタル地図の導入を決定し、事業主体を県自治会館組合とし、7月に空中写真を、19年2月にデジタル地図作成作業に着手しました。
国道や林道などのクリーン作戦等の美化運動を推進する	まちづくり保全室	道路ふれあい月間	自治会参加による市内道路の一斉清掃を実施する。						8月6日に約1万人が参加して実施しました。
	環境森林保全室	環境パトロール	巡回パトロールを行い、ポイ捨てごみの回収や、監視カメラによる不法投棄を監視し、不法投棄の適正な処理に努める。						新たな不法投棄を抑止するため、2台のカメラを新設しました。（合計38台）また、地域の環境保全のため、巡回パトロールを行い、ポイ捨てごみの回収や、不法投棄の適正な処理に努めました。（パトロール回数96回、回収量17,490キロ）
	環境保全対策室	亀山市地区衛生組織連合会	クリーン作戦、市内一斉清掃、環境美化パトロールを実施する。						7月8日に国道1号鈴鹿峠各所（新所交差点以西）及び河川敷きを約600人が参加し、国土交通省と共催でクリーン作戦を実施しました。11月12日に151自治会が市内一斉清掃を実施しました。平成19年2月13日～23日に地区衛生組織連合会環境指導員により環境美化パトロールを実施しました。

	まちづくり保全室	鈴鹿川クリーン作戦	鈴鹿川の清掃(国交省主催)に参加する。						10月14日川と海のクリーン作戦に参加要請し、市内企業など約200人の参加がありました。
まちをきれいにする条例の周知及び罰則規定等の強化により、不法投棄の防止に努める	環境森林保全室	不法投棄監視事業	亀山市地区衛生組織連合会で、不法投棄早期発見のための講習会(年1回)、産業廃棄物に係る立入検査員に対して講習会を実施する。(年1回)						10月17日に不法投棄の講習会1回、10月26、27日に立入検査員の講習会を全3回開催しました。

屋外焼却・自家焼却の抑制

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
焼却行為による環境への影響や法規制に関する情報提供を行い、焼却自粛に対する協力の呼びかけを行う	環境保全対策室	環境保全一般	苦情がある都度、指導を行う。						野焼き禁止の指導を33件行いました。平成18年12月に「野焼き禁止」の広報掲載及び文字情報番組放送しました。「野焼き禁止」について、ホームページに継続して掲載しました。
	亀山消防署	防火診断、枯草等の調査及び防火指導に関すること。	一般家庭防火診断を実施し、火災予防に対する啓発を行う。(平成20年までに20地区)						秋季火災予防運動期間中の11月11日、12日の両日に、みずきが丘で254世帯を対象に、また春季火災予防運動期間中の19年3月3日、4日の両日に、みずきが丘(秋季の継続)で106世帯、川合町(新道自治会、メープル川合自治会、山田自治会)で116世帯を対象にそれぞれ実施しました。
	関消防署	防火診断、枯草等の調査及び防火指導の実施	一般家庭防火診断を実施し、火災予防に対する啓発を行う。(平成20年までに関町全地区)						11月11日・12日に関町加太地区(板屋、梶ヶ坂、神武)で124世帯、19年3月3日・4日に関町加太地区(向井、市場)で128世帯において一般家庭防火診断を実施し、火災予防に対する啓発を行いました。
違法な焼却行為に対しては、指導を行う	環境森林保全室	環境パトロール	環境パトロール(林道パトロールを含む)によって指導を行う。						環境パトロールで野焼きを指導しました。(1回)
	亀山消防署	防火診断、枯草等の調査及び防火指導に関すること。	一般家庭防火診断を実施し、火災予防に対する啓発を行う。(平成20年までに20地区)						秋季火災予防運動期間中の11月11日、12日の両日に、みずきが丘で254世帯を対象に、また春季火災予防運動期間中の19年3月3日、4日の両日に、みずきが丘(秋季の継続)で106世帯、川合町(新道自治会、メープル川合自治会、山田自治会)で116世帯を対象にそれぞれ実施しました。

関消防署	防火診断、枯草等の調査及び防火指導の実施	一般家庭防火診断を実施し、火災予防に対する啓発を行う。(平成20年までに関町全地区)					11月11日・12日に関町加太地区(板屋、梶ヶ坂、神武)で124世帯、19年3月3日・4日に関町加太地区(向井、市場)で128世帯において一般家庭防火診断を実施し、火災予防に対する啓発を行いました。
------	----------------------	--	--	--	--	--	---

地球規模の環境問題への対応
環境負荷の少ない社会の形成

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
環境にやさしい製品や行動の紹介など、環境に配慮した生活様式の定着を促す	廃棄物対策室								
行政の率先行動の実施及び取り組みを紹介する	行政改革室	ISO14001環境マネジメントシステム推進事業	亀山市の環境、広報、ホームページ等を利用して紹介する。						7月7日~12日CTVで「クールビズ」を紹介しました。
国や県の環境家計簿の家庭への普及を促進する	環境森林保全室	地球温暖化防止対策地域推進計画策定事業	ごみカレンダーに環境家計簿を掲載する。						ごみカレンダーに環境家計簿を掲載しました。
事業者のISO14001や県の小規模事業者向けEMS(M-EMS)など環境管理システムの構築支援を行う	行政改革室	ISO14001環境マネジメントシステム推進事業	ホームページによる情報提供、EMS導入相談、率先事例の紹介などを行う。						ホームページでISO14001、エコアクション21等を照会しています。また、7月7日~12日CTVで「クールビズ」を紹介しました。
	産業・観光振興室	中小商業レベルアップ事業	市内中小事業者を対象とした研修会にてミームス推進について説明する。						
	環境保全対策室								
低公害車の普及を促進する	財務室	公用車の管理							

	財務室	公用車の管理	公用車(特殊業務使用車を除く。)のうち、軽自動車、小型貨物、小型及び普通乗用車について、30台を低公害車に買い替える。(新規購入含む。)						低公害車14台の購入予算の議決を得ました。(買い替え10台、新規4台、計14台)
	環境保全対策室	環境保全一般	広報、ホームページ等を利用して啓発する。						ホームページに継続して掲載しています。
	環境森林保全室	地球温暖化防止対策地域推進計画策定事業	地球温暖化防止地域推進計画を策定する。						行政改革室・企画経営室他と打ち合わせをし、方向性を検討しました。
公共交通機関の利用を促進する	産業・観光振興室	新地域生活交通再編事業	鉄道利用を促進すべく、沿線自治体等と連携し、利用促進活動を実施する。						県・沿線自治体と連携を図り、JR東海及び西日本へ要望や利用促進活動(車内PRポスター作成、沿線探訪ツアー(伊賀市)開催支援等)を実施しました。
	産業・観光振興室	新地域生活交通再編事業	市内バス路線の再編を図るべく、バス検討委員会を開催し、効率的・効果的な路線形態等のあり方について検討する。						亀山市バス等検討委員会での見直し検討が完了し、検討報告を取りまとめました。さらに、市民代表を含む関係者で組織する亀山市地域公共交通会議を設置し、事業化に向けた具体的協議の段階まで進捗を図りました。
	環境森林保全室	地球温暖化防止対策地域推進計画策定事業	地球温暖化防止地域推進計画を策定する。						行政改革室・企画経営室他と打ち合わせをし、方向性を検討しました。
輸送エネルギーの少ない地産地消を促進する	農政室	地産地消の推進	亀の市、アグリキャンパス21等を支援する。						亀の市、アグリキャンパス21に対し、市内各種イベント参加要請を行い、地産地消の推進を図りました。

新たなエネルギーの活用

施策(目的)	担当室	事業	実施事項(目標)	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
太陽光発電や風力発電など自然エネルギーの公共施設への導入を進める	企画経営室	新エネルギー関係	新エネルギービジョンを策定する。						
	環境森林保全室	地球温暖化防止対策地域推進計画策定事業	地球温暖化防止地域推進計画を策定する。						行政改革室・企画経営室他と打ち合わせをし、方向性を検討しました。

	教育総務室	小学校施設建築、面積状況及び統計調査	環境に配慮した西小学校新校舎を完成させる。						
	教育総務室	小学校施設建築、面積状況及び統計調査	改築事業時に自然エネルギー導入する。						
	建築住宅室	公共建築物の建設及び維持修繕	施設担当課が事業化するとき技術援助する。						平成18年度は太陽光発電設置などの案件はありませんでした。
各家庭や事業所への太陽光発電の導入支援を進める	企画経営室	新エネルギー関係	家庭用新エネルギー普及支援事業費補助金によって普及を図る。						家庭用新エネルギー普及支援事業費補助金の交付に向け要綱を策定し、6月1日より補助金の交付申請を受付開始しました。家庭用太陽光発電システム23基、エコキュート13基に補助金を交付し、81.4KWの新エネルギーが導入されました。
	環境森林保全室	地球温暖化防止対策地域推進計画策定事業	地球温暖化防止地域推進計画を策定する。						行政改革室・企画経営室他と打ち合わせをし、方向性を検討しました。
工場排熱など未利用エネルギーの活用を促進する	企画経営室	新エネルギー関係	新エネルギービジョンを策定する。						
	環境森林保全室	地球温暖化防止対策地域推進計画策定事業	地球温暖化防止地域推進計画を策定する。						行政改革室・企画経営室他と打ち合わせをし、方向性を検討しました。
有機性廃棄物や間伐材などバイオマス資源の有効活用に関する調査研究を進める	農政室								
	廃棄物対策室								
総合環境センターの溶融炉から排出される廃熱については、温室や暖房、コンポスト製造への活用など、地域還元を進める	廃棄物対策室	廃熱利用温水供給施設建設事業	溶融炉の廃熱利用を検討する。						溶融炉運転管理委託業者も交え、小規模実験（平成19年度開始予定）を検討しました。

健全な水循環の確保

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
森林や農地等の適正管理を促進し、水源かん養機能の確保に努める	環境森林保全室	森林環境創造事業	森林の持つ公益的機能を効率的に発揮させるため、環境林を整備する。						8認定地区97.55haで事業を実施し、水源涵養、土砂流失の防止を図りました。（累計413.97ha）
	環境森林保全室	海と森林を結ぶ交流事業	鈴鹿川流域及び伊勢湾の環境を保全するため、川上、川下の住民が協力して森林再生に向けての森づくりや海の環境美化を進める活動を行う。						4月22日、8月5日に交流事業を実施しました。4月22日は、漁協側が市内加太地区の手入れされた森林と手入れされていない森林を見学することにより、森林管理の重要性を認識し、8月5日は、加太小5・6年生で組織する「みどりの少年隊」を含む森林組合側が、伊勢湾の底引き網による魚とゴミ、セントレア近くのヘドロの説明を受け、川を介して森林と海が繋がっていることを認識しました。
	農政室	中山間地域等直接支払事業	集落協定による耕作放棄農地の発生防止等の活動に対し交付金を交付する。						中山間地域等直接支払い制度（H17～H21）を活用し、集落協定による耕作放棄農地の発生防止等の活動に対し交付金を交付しました。 平成17年度 11集落 農地面積 A = 45.67ha
節水意識の高揚に努める	上水道室	広報活動	「水道週間」に合わせて市広報で節水を呼びかけ、市役所等にて蛇口パッキンの無料配布及び高齢者宅水道診断を実施する。						6月1日～7日までの「水道週間」に合わせ、市広報で節水を呼びかけ、6月5日～9日の間、市役所等にて蛇口パッキンの無料配布を行いました。
雨水貯留タンクや透水施設の設置促進などにより、雨水の有効利用や洪水被害の軽減に努める	まちづくり整備室	治水及び砂防に関すること	1ha以下の開発行為による宅地造成事業においても洪水発生の恐れのある場合は、雨水調整施設の設置を指導する。						法的には1ha以上の開発行為による宅地造成事業においては調整池の設置が義務づけられていますが、本市ではそれ以下の面積であっても雨水計算の確認を行い、洪水発生の恐れのある場合は、雨水調整施設の設置を指導しました。

国際的意識の形成

施策（目的）	担当室	事業	実施事項（目標）	スケジュール					平成18年度実績
				17	18	19	20	21以降	
酸性雨、オゾン層の破壊、砂漠化の進行、野生生物種の減少など地球規模の環境問題に関する情報提供に努め、地球環境の悪化を防止する意識の向上を図る	環境保全対策室	総合環境研究センター事業	環境市民大学及び大学院を開講する。						第2期環境市民大学を平成18年9月～19年1月の計5回開講し、64名（延べ210名）が受講しました。
	環境森林保全室	地球温暖化防止対策地域推進計画策定事業	地球温暖化防止地域推進計画を策定する。						行政改革室・企画経営室他と打ち合わせをし、方向性を検討しました。